学力向上を図るための授業改善推進プラン　全体計画　　令和2年度　小平市立小平第五小学校

○教育基本法
○学校教育法
○学習指導要領
○東京都教育目標・方針
○小平市教育目標・方針

小平市立小平第五小学校　学校教育目標

☆ **すすんで学び**（主体的に問題を解決していく子ども）＜今年度重点項目＞
○ **元気で**（心も体もたくましい子ども）
○ **思いやりのある子**（豊かな人間性をもち、互いに助け合い支え合う子ども）

○学校，児童・地域の実態
○期待される児童像
○保護者の期待や願い
○地域の期待や願い

【目指す学校像】

(1) 子どもが輝き、笑顔あふれ、明日が待たれる学校
(2) 家庭・地域社会と連携した学校
(3) 教職員が個々の力を発揮し、協働して活動する学校
(4) 安全で美しく、安心して学べ集える学校

【五小重点課題】

学力の向上　・　健全育成　・　特別支援教育
コミュニティ・スクール　・　校内研究

「分からないゼロ」を目指して

1. 必達目標の設定

→６年卒業時までにつける力を考え、各学年の必達目標を設定し実践していく。

2. 「分かる」「できる」授業への工夫

一人一人に確実に学力を定着させ、多様な活動を通して学び方を身に付けさせる。

→学びを確かなものとする「書く」指導を、必ず取り入れる。

→一単位時間を三つのユニットで組み立てるなど、メリハリのある授業の構築

3. 校内研究と修養の充実

→対話的学びをとおして考えを広げ、深める指導の工夫

→校内研究授業は、全教員が行う。

4. 授業規律の徹底

全教職員が一丸となって授業規律の徹底をすすめていく。
→「はい　立つ　です」の徹底
→授業開始時刻と終了時刻の厳守

5. 学習環境の整備

→家庭学習時間「１０分×学年」の徹底を全校ですすめる。
→東京ベーシックドリルを活用し、基礎・基本の徹底を図ると共に、家庭学習に活かす。

●国語
言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、正確に理解し適切に表現する資質・能力を育成する。

●社会
社会的な見方・考え方を働かせ、課題を追究したり解決したりする活動を通して、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の形成者に必要な公民としての資質・能力の基礎を育成する。

●算数
数学的な見方・考え方を働かせ、数学的活動を通して、数学的に考える資質・能力を育成する。

●理科
自然に親しみ、理科の見方・考え方を働かせ、見通しをもって観察 実験を行うことなどを通して、自然の事物・現象についての問題を科学的に解決するために必要な資質・能力を育成する。

●生活
具体的な活動や体験を通して、身近な生活に関わる見方・考え方を生かし、自立し生活を豊かにしていくための資質・能力を育成する。

●音楽
表現及び鑑賞の活動を通して、音楽的な見方・考え方を働かせ、生活や社会の中の音や音楽と豊かに関わる資質・能力を育成する。

●図画工作
生活の営みに係る見方・考え方を働かせ、衣食住などに関する実践的・体験的な活動を通して、生活をよりよくしようと工夫する資質・能力を育成する。

●家庭
生活の営みに係る見方・考え方を働かせ衣食住などに関する実践的・体験的な活動を通して、生活をよりよくしようと工夫する資質・能力を育成する。

●体育
体育や保健の見方・考え方を働かせ，課題を見付け，その解決に向けた学習過程を通して、心と体を一体として捉え、生涯にわたって心身の 健康を保持増進し豊かなスポーツライフを実現するための資質・能力を育成する。

●外国語
外国語によるコミュニケーションにおける見方・考え方を働かせ、外国語による聞くこと、読むこと、話すこと、書くことの言語活動を通して、コミュニケーションを図る基礎となる資質・能力を育成する。

総合的な学習の時間の指導の重点
・自ら学習課題を見付け解決する力の育成
・体験活動の推進

外国語活動の指導の重点
・言語や文化への理解
・積極的なコミュニケーションを図る態度の育成

特別な教科 道徳の指導の重点
・基本的生活習慣
・豊かな心の育成
・生命や自然の大切さ
・生きる力の育成

特別活動の指導の重点
・委員会・クラブ活動
・各教科等との関連
・児童が自主的・主体的に活動する学校行事
・清掃活動や異年齢集団との交流

生活指導の重点
・「小平第五小学校の生活」の徹底
・全教職員の児童理解の充実
・避難訓練、防犯訓練等の実施

特別支援教育の重点
・校内委員会の充実
・スクールカウンセラーの活用
・保護者や関係機関等との連携相談
・さくら学級と通常学級との交流活動

進路指導の重点
・学習体験を通した、人間としての生き方
・将来にわたって、夢や希望を抱く指導

【授　業　改　善　に　向　け　た　校　内　体　制】

計画・実施・評価・改善	教育課程の重点化・スリム化	家庭教育支援
１研究授業中心の校内研究で一人一人の教員の授業力を高める。 ２校内分掌組織体制 ⇒個人研究、校内研究による推進 ３適正な教育課程の実施 ⇒年間指導計画の作成・改善、週案簿 ４授業改善推進プランの実施・改善 ⇒授業研究公開、授業評価	１授業時数の確保 ⇒学校行事の見直し・精選 ２会議の精選・効率化 ３基礎・基本の徹底 ⇒補習日の設定、朝の学習タイムの活用 ４学校支援ボランティアの活用 ⇒ボランティアの運営組織 ５学校支援コーディネーターとの連携	１基本的生活習慣・家庭学習の定着 →「早寝早起き朝ごはん」の生活リズム →生活点検習慣の実施（年３回） ２保護者への啓発 ⇒学校だより・学年学級だより等の発行 ３保護者だけに抱え込ませない家庭支援 ⇒家庭支援体制の整備